

訪問看護ステーションつくしのえん

訪問看護ステーション 管理者 三好 明子

今年度の最後は、相談支援専門員や施設職員の方々の声をお伝えします。

【相談支援専門員】

- ・利用者様やご家族の生活や体調が気になる時など、連携をとりあい、早めに対応できる。
- ・病院の中にある訪問看護ステーションなので連携が図りやすく、利用者様も安心すると思う。

【施設職員】

- ・施設の入所者様へ訪問看護をおすすめしたい。医療的な知識が

ある人に来てもらうと安心する。

- ・電話で相談すると、丁寧に対応してくれるので助かっている。
- ・受診前に訪問してくれるため、気になることなど訪問看護師からアドバイスをもらえると、診察の時に主治医に聞きやすい。

私たちは、ご利用者様やご家族が安心して地域で生活を送れるよう、サポートしていきたいと考えています。訪問看護のことをもう少し知りたいなどありました

ら、主治医や当ステーションへ声をかけてください。

訪問看護ステーション
つくしのえん
の詳細については、
電話 017-718-7113

まで
お気軽に
お問合せください。



心理部門の紹介

医療連携室 公認心理師

みなさん、こんにちは。医療連携室に所属している心理部門について紹介します。

くいかない”等、同じような経験をしている仲間と一緒に、少人数のグループで学んでいくことができます。

皆さんがお困りになっていることについて、一人で考えるのがちょっと難しい、と感じた時などに、皆さんの目指す目標に向け、一緒に考えるお手伝いをさせていただきます。

当院では、3名の公認心理師がおり、医師からの依頼により、主に外来や病棟で心理検査を行っています。

これまで参加して下さった皆様からは、「最初は緊張したけれど、話しやすい雰囲気、安心できた」「他の人の考えを聞く機会があって参考になったし、自分一人が悩んでいるのではないと思えた」「練習することで前より話しやすくなった」等のお声をいただいております。

心理検査やグループへの参加については、医師が総合的に判断して決めますので、希望される方は、まず、主治医にご相談ください。

日頃より、多職種で連携をとりながら心理面からのサポートを行っており、ショートケアでは作業療法士とともに、水曜日の午前中に成人の自閉スペクトラム症の方を対象としたコミュニケーションスキルの習得を目指すグループ(1クール20回)を開催しています。

また、主に入院中の方を対象とした回復セミナーでは、ストレスとの上手なつき合い方について担当しています。これまで皆さんが取り組んできた対処法に加え、ストレスがあってもこころの不調が大きくなるような、自分に合った対処法を考えていきます。



つくし つめこみニュース

マイナンバーカードでの受付方法をご案内します。(QRコードからポスターをご覧ください)

マイナ受付

マイナ保険証で受付する際は顔認証読み取りカードリーダーを使用し、画面の指示に沿って受付をしてください。

1. マイナンバーカードを顔認証読み取りカードリーダーに挿入し、顔認証を行います。
2. 顔認証が成功すると、マイナ保険証の画面が表示されます。
3. 画面の指示に従って、マイナ保険証の画面で受付を行います。
4. マイナ受付完了です。

「マイナンバーカードを保険証として利用するための登録が必要」と表示された方へ

「マイナンバーカードを保険証として利用するための登録が必要」と表示された場合は以下の手順に沿って登録をお願いします。

1. 「マイナンバーカードを保険証として利用するための登録」画面が表示されます。
2. 「マイナンバーカードを保険証として利用するための登録」画面で「マイナンバーカードを保険証として利用するための登録」を選択し、「マイナンバーカードを保険証として利用するための登録」画面が表示されます。
3. 「マイナンバーカードを保険証として利用するための登録」画面で「マイナンバーカードを保険証として利用するための登録」を選択し、「マイナンバーカードを保険証として利用するための登録」画面が表示されます。

マイナ受付

顔認証がうまくいかない場合は以下をお試しください

- カメラに近づきすぎない
- 前髪を上げる
- マスクを下げる、外す
- 帽子を外す
- 眼鏡を外す



青森県立つくしが丘病院
〒038-0031 青森市三内字沢部353番地92 TEL 017-787-2121
ホームページ <https://aomori-tsukushigaoka.jp/>
アクセス
青森市営バス
・古川バス停から「つくしが丘病院行き」又は「岩渡行き」約20分
タクシー
・JR青森駅から約20分
・JR新青森駅から約5分



今冬につくしが丘病院(うたで雪だじゃ)



精神科クリニカルパスってなあに？

クリニカルパス推進委員会

皆さんはクリニカルパスという言葉を知っていますか。クリニカルパスは簡単に説明すると、質の高い医療を提供することを目的とした、入院から退院までの治療・検査などの予定を記載した計画表と思ってください。良好な治療結果をより短い期間で達成するため、多くの病院で活用されています。

当院では、平成27年度に急性期病棟クリニカルパスを導入し、令和3年度には入院された方が入院

後3ヶ月以内に病状が安定して退院できることを目的に、新たに統合失調症、気分障害(躁・うつ)、認知症の4疾患のクリニカルパスの運用を開始しました。

現在運用されているクリニカルパスの特徴は、多職種連携の強化、業務・記録の効率化にあり、入院された方の病状に合わせて必要な支



援を行っています。入院3週間、1ヶ月、2ヶ月を目安に多職種カンファレンスを開催し、皆さんが安心して地域生活に戻れるよう、医師、看護師、作業療法士、薬剤師、訪問看護師、精神保健福祉士、臨床心理士、事務職員でサポートしてまいります。



家族教室通信

医療連携室 精神保健福祉士 川崎 佑樹

第4回目は、11月22日(金)に「成年後見制度」をテーマに開催しました。

今回の「青年後見制度」は毎年、ご家族から開催希望があるテーマで、当院でもこの制度を利用されている患者様がいらっしゃいます。

青森市障がい者支援課の竹内様、中野様による講義では、制度の基本的な知識、制度利用されている方の事例紹介(65歳未満で障がいをお持ちの方)など説明していただきました。メモを取りながら聞いている参加者が多く、内容への関心の高さを感じることができました。

～第5回目は3月7日(金)～

第5回家族教室は、3月7日(金)13:15から「児童関係」の内容をテーマに開催予定です。

今年度予定していた全5回のうち、これが最後の開催となります。

家族教室については、当院ホームページや院内の掲示などで案内していますので、是非ご覧ください。



医薬品の自己負担の新たな仕組みについて

薬剤師 一戸 圭一

後発医薬品(ジェネリック医薬品)は、先発医薬品と有効成分が同じで、同じように使ってもらえる薬です。将来にわたり国民皆保険を守っていくため、国では、価格の安いジェネリック医薬品の使用を促しています。

その一環として、令和6年10月からジェネリック医薬品がある薬で、先発医薬品の処方をお支払いいただくことになりました。特別の料金は、先発医薬品とジェネリック医薬品の価格差の4分の1にあたる金額に

なります。対象となる先発医薬品の処方を患者さんが希望される場合、通常の1～3割の患者負担とは別に特別の料金をお支払いいただきます。

対象はジェネリック医薬品が発売されている先発医薬品の一部です。ジェネリック医薬品の中には飲みやすく工夫されているものもあります。現在、先発医薬品の処方を希望されている患者さんにおかれましては、この機会にジェネリック医薬品の積極的な利用をお願いします。



(参考)厚生労働省ポスター



青森県警察音楽隊が慰問演奏会に来てくださいました！

生活療法委員会

クリスマス・イブの令和6年12月24日(火)、青森県警察音楽隊の皆さんが慰問演奏会に来てくださいました。演奏プログラムは全部で11曲！美空ひばりやYOASOBIのメドレーから、唱(A d o)、サウスポー(ピンクレディ)、マッケンサンバまで、とても幅広く表現豊かに演奏してくださいました。入院患者さんたちは会場と病棟からもWebで観覧して、手拍子やお礼の掛け声も飛び、最後は患者さんからの花束贈呈で締めくくりとなりました。



青森県警察音楽隊の皆さん 素晴らしい演奏ありがとうございました！